

私立高校について（昨年度の「進路のしおり」より）

いままで公立高校について説明してきました。今回は私立高校（主に札幌周辺）を取り上げます。

○私立高校の特色

出願できる高校は 私立高校には男子校・女子校・男女共学校がありますが、公立高校と違い通学区域の規制はありませんので、全国どこの私立高校でも出願することができます。また入試日が異なっていれば、複数の私立高校を受験することもできます。ただし、道内の私立高校の一般入試はA日程、B日程のどちらかで実施されることになっていますので、最大でも2校までしか受験できません。

学科について

普通科以外の学科を設置している高校もありますが、ほとんどは普通科で、その中にいくつかのコースを設けています。国公立大学への進学を目指すコース、私立大学への進学を目指すコース、専門学校への進学や就職を目指すコースなど高校卒業後の進路を考えて選ぶ必要があります。また同じ名称のコースであっても、高校が異なるとカリキュラムもかなり違ってきます。

受験について

推薦受験

ほとんどの私立高校で実施しています。人数や出願資格などは高校ごとに決めています。公立高校の場合と同様に、中学校長の推薦を受けなければなりません。

一般受験

中学校長の推薦を必要としない受験です。ただし、高校によっては、単願受験や専願受験を実施するところもあり、この場合、入試日が異なっていたり、他の高校には出願できないこともあります。各高校の学校説明会や入学案内などでよく調べておく必要があります。

入学者の選抜

私立高校の入試は、各高校独自の選抜基準により実施されます。

推薦受験では、個人調査書や推薦書などの書類及び面接の結果の他に

各高校の考えで学力検査や作文などを行い、それらの結果を総合的に評価して合格者が決定されます。

一般受験では、基本的には公立高校と同じで、個人調査書と学力検査（5教科または3教科が一般的）によって合格者が決定されます。面接を実施する高校も多く、その結果は非常に大きなウェイトを占めています。また、生活面に厳しく「学習成績よりも、まじめに努力する生徒を・・・」という傾向が見られます。そのため、『欠席日数』や『特別活動の記録』なども重視されます。

特典制度

ほとんどの私立高校には特待生の制度があります。中学校の学習点で決まるもの、入試得点で決まるもの、その両方で決まるもの、その他の条件で決まるものなどがあります。各高校により、条件や特典が細かく決められています。

進路

どの高校も進学指導にはとても力を入れています。系列の大学以外に指定校推薦の枠を持っている高校も多く、多数の生徒が大学へ進学しています。推薦制度によらずに、一般受験で大学や専門学校へ進学する生徒も増えてきています。また、高校在学中に多くの資格を取り、就職する生徒も大勢います。

私立高等学校一覧

以下の学校の詳しい内容は6月に配布される「進路のしおり」に詳しく載る予定です。

札幌光星高等学校 北海高等学校 北星学園大学附属高等学校 札幌第一高等学校
東海大学付属高等学校 札幌創成高等学校 札幌山の手高等学校 北海学園札幌高等学校
札幌新陽高等学校 北海道文教大学明清高等学校 札幌龍谷学園高等学校
北海道科学大学高等学校（昨年度から名称が変わりました） 札幌静修高等学校
札幌北斗高等学校 札幌大谷高等学校 札幌聖心女子高等学校 北星学園女子高等学校
立命館慶祥高等学校 札幌日本大学高等学校 とわの森三愛高等学校 北照高等学校
小樽名峰高等学校 双葉高等学校 北星学園余市高等学校 北海道栄高等学校
北海道室蘭大谷高等学校 函館ラサール高等学校

広域通信制・単位制の私立高校

クラーク記念国際高等学校 星槎国際高等学校 池上学院高等学校 札幌自由が丘学園三和高等学校 北海道芸術高等学校 日本航空高等学校 飛鳥未来高等学校

※どの高校もホームページがあります。ホームページを見ると学校の生活の様子などわかります